

2018年10月17日

次世代基幹業務システム「SAP S/4HANA®」を導入 ～情報基盤の再構築と業務効率化による生産性向上～

住友化学は、このたび、ドイツの SAP 社が提供する次世代基幹業務システム「SAP S/4HANA®」を導入し、2021年度をめどに運用を開始することといたしました。この先、全世界のグループ会社にも展開いたします。同システムの導入に伴い、生産管理・物流・販売・会計などの業務プロセスを見直し、効率化するとともに、経営を支える情報基盤を再構築することで、より生産性の高い働き方の実現を目指します。

住友化学は、現中期経営計画のテーマの一つに「IoT時代の業務革新とワークスタイル変革」を掲げています。その取り組みとして、「プラント関連業務プロセス・情報のデジタル化」「グローバルサプライチェーン情報のリアルタイム可視化・高度化」「クラウドソーシングや最新テクノロジーの積極活用による業務効率化」など複数のプロジェクトを、グローバルに推進しています。

「SAP S/4HANA®」については、既に一部の海外グループ会社に先行して取り入れ、運用しています。今後、住友化学およびその他のグループ会社にも導入・展開することで、経営管理情報のさらなる可視化と精度の向上を図るとともに、顧客やサプライヤーと在庫情報や出荷情報をリアルタイムに連携し、サプライチェーンマネジメントを従来以上に強化することで、より効果的な生産・販売活動につなげていきます。さらに、RPA*、AIなど最新のIT技術を最大限活用し、オフィス業務の抜本的な効率化も進めていきます。

住友化学は、今後も「IoT時代の業務革新とワークスタイル変革」の実現を通じて、持続的な成長と企業価値の向上に努めてまいります。

* Robotic Process Automation：ロボットによる自動化

以上